

# 令和7年度豊島区在宅医療コーディネーター研修(上級編)

## 募集要項・実施概要

### 1. 目的

在宅ケアに関わる職種に対し医療に関する研修を実施することで、医療的ケアを含めた生活全般を支える知識・技術の習得を図り、区民の在宅ケアの充実及び在宅ケア体制の基盤整備につなげる。

### 2. 実施主体

豊島区

### 3. 受講対象者

過去に在宅医療コーディネーター研修（基礎編）を受講された方

※申込状況等を考慮して、今まで受講されていない、豊島区内の医療・介護関係者の方も受講できる場合があります。

### 4. 研修日程及び会場等

#### (1) 募集人数 25名程度

※お申込者多数の場合は、調整させていただきますのでご了承ください。

#### (2) 研修日程

- ①令和7年 9月25日(木) 午後1時00分～午後 4時00分
- ②令和7年10月27日(月) 午後1時00分～午後 4時00分
- ③令和7年11月17日(月) 午後1時00分～午後 4時00分
- ④令和7年12月25日(木) 午後1時00分～午後 4時00分
- ⑤令和8年 1月29日(木) 午後1時00分～午後 4時00分

#### (3) 会場 池袋保健所1階講堂（豊島区東池袋4-42-16）

### 5. 研修プログラム

別紙「研修プログラム」をご参照ください。

### 6. 申込み方法

#### (1) 受付

別紙の申込用紙により受け付けます。

FAX またはメールでお申込みください。

◎区ホームページからも募集要項・申込用紙等を取り出せます。

豊島区ホームページ <http://www.city.toshima.lg.jp/>

ホーム > 健康・医療・福祉 > 健康・医療 > 在宅医療の推進～住み慣れた地域で安心して在宅医療を～ > 豊島区の在宅医療連携への取り組み～顔の見える連携づくり～をクリックし、ページ下部の「豊島区在宅医療コーディネーター研修」をご覧ください。

(2) 申込み期限

令和7年9月18日(木)まで

※締め切り後も定員に空きがある場合は受け付けますので、お問い合わせください。

(3) 受講決定

受講決定後、受講対象者には受講決定書を発送します。

7. 受講料等

研修に関する経費は、豊島区において負担します（受講者負担はありません  
ただし、研修会場までの交通費については、受講者負担になります）

8. 修了証書の交付

定められた全ての研修課程を履修した場合に限り、本研修を修了したものと  
し、「豊島区在宅医療コーディネーター研修（上級編）修了証書」を交付いた  
します。

※ 修了証書は、あくまでも本研修の受講を修了したことを証するものであり、  
資格取得・任用等への効力はありません。

9. 個人情報の取扱い

申込書及びこれに添付された書類に記載された個人情報については、適正  
に管理を行い、本研修の運営及び上述した目的以外に利用することはありません。

10. お問い合わせ

豊島区健康部 地域保健課 がん対策・健康計画グループ

〒170-0013 豊島区東池袋4-42-16 池袋保健所2階

電話：3987-4243（直通） FAX：3987-4110

## ◆研修プログラム◆

※ プログラム内容及び講師は変更となる場合があります。

構成：水木 麻衣子氏（一般社団法人日本医療コーディネーター協会理事）

### 1日目 令和7年9月25日（木）

テーマ：救急医療の仕組みと救急救命医の役割

内容：在宅医療において、救急医療との関わりは重要である。救急医療のシステムと医療現場の対応について知る。

講師：中澤 佳穂子氏（東京北医療センター 救急科救急救命医）

### 2日目 令和7年10月27日（月）

テーマ：緩和医療の仕組みと緩和ケア医の役割

内容：在宅医療において、緩和医療とのかかわりは重要である。緩和医療のシステムと医療現場の対応について知る。

講師：茅根 義和氏（大森赤十字病院 緩和ケア内科）

### 3日目 令和7年11月17日（月）

テーマ：“コミュニティ”を支援する看護の機能

内容：地域の健康課題にどのように対応していくか。社会と地域の関係強化、地域住民のための研究等、東大看護の目白台プロジェクトからの発信。

講師：北村 智美先生氏（東大看護ステーション 目白台）

### 4日目 令和7年12月25日（木）

テーマ：臨床倫理を学ぶ①

内容：臨床倫理部会による臨床倫理についての講義と演習①

講師：豊島区在宅医療連携推進会議 臨床倫理部会  
久保 信彦氏（あずま通りクリニック）

### 5日目 令和8年1月29日（木）

テーマ：臨床倫理を学ぶ②

内容：臨床倫理部会による臨床倫理についての講義と演習②

講師：豊島区在宅医療連携推進会議 臨床倫理部会  
久保 信彦氏（あずま通りクリニック）